

## Ⅷ 特色ある公民館活動②

# 「明るく元気な校区づくり」

## ～子どもがイキイキ育つ校区づくり～

みやま市 瀬高公民館南支館 支館長 紫牟田 一彦

### ①事業名 「みなみ子ども広場」の活動

みやま市誕生、平成19年旧山門郡瀬高町・山川町・旧三池郡高田町3町との合併。

南校区まちづくり協議会誕生、平成18年 7月

子ども広場（公民館） 誕生、平成14年12月

（学校週5日制完全実施でスタート）

平成19年4月子ども広場（まちづくり協議会）再出発

	みやま市	南校区
人口	40,228	4,068
世帯数	14,136	1,364
高齢化	31.20%	27.30%

### ②事業の目的

子ども達を「地域みんなで支えよう」（学校週5日制実施で子どもの居場所づくり）

### ③事業の実施主体 みやま市青少年育成南校区民会議「みなみ子ども広場実行委員会」

委員は、南まちづくり協議会【公民館・子ども会育成会、PTA、区長会、婦人会（女性部）、社会福祉協議会、食進会、JA女性部、さざんか学級、老人会】や他有志のボランティアで構成

### ④事業予算

市と南校区まちづくり協議会からの助成金

### ⑤実施に至る経緯

平成14年12月（一日開催）

平成15年度以降（回数・教室の増加）

- ・折り紙・紙芝居・カルタ・田植え・稲刈り
- ・竹馬・凧揚げ・竹トンボ・料理・餅つき
- ・しめ縄づくり・囲碁将棋等

毎月学校を通してお知らせ

平成16年2月（閉講式約70人の参加）

平成17年5月（開講式）

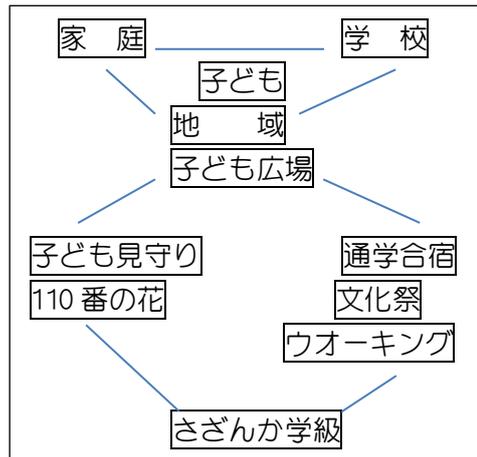
平成20年5月（開講式約200人の参加）

平成23年度（バケツ稲栽培）

平成24年度【体で学ぶ数学（図形）・救急法（三角巾・一次救命処置）】

平成25年度【算数力（図形）・通学合宿（4泊5日：改善センター）】

### ⑥プログラム作成の視点（地域に根ざした活動）



(1) 伝統文化 (農業体験・昔遊び等に触れて生きる智慧を身につける)

(2) 仲間づくり (共に学ぶ・みんな違ってみんないい)

(3) 改革創造 (価値追求型) 新しさを求めて試行実践

⑦事業の内容 「バケツ稲栽培」(1粒で何粒お米がとれるの)

⑧活動の力点 (バケツ稲栽培を通して)

(1) 体を通して学ぶ

(2) 不便さに直面する

(3) 最後までやり通す

本気  
やる気  
元気

ア、活動の実際 【1粒で育てる2000粒のおにぎり】

イ、主な活動 (種まき、稲刈り、乾燥、脱穀、籾すり、記録、炊飯、試食)

ウ、稲の成長の記録



5/18 種まき～稲の生長の様子



6/13  
19日目

6/22  
28日目

7/9  
45日目

8/13  
80日目

9/10  
108日目



10/19 (148) 茎の長さ 100 cm

茎の数 60 本

茎 (44~130) 平均 66 本

⑨事業の成果

(1) 様々な広がり

ア、協力者：ボランティア・提供者・対象児  
家族参加（叔母・保護者）

イ、来館者のアピール

ウ、農耕用具の提供（唐箕・足踏み脱穀機）

(2) 子どものすばらしさの発見

好奇心・自己重要性・群居衝動・生きる力

⑩今後の課題

(1) 内容の工夫（地域性・参加数）

(2) 学校との連携（総合学習）

(3) 情報発信（フェイスブック）

(4) 人材の確保（現職時から）

⑪問い合わせ先

〒835-0016 みやま市瀬高町大江 671

瀬高農村環境改善センター

電話・FAX 0944-62-4817

メール [minamikouku@sand.ocn.ne.jp](mailto:minamikouku@sand.ocn.ne.jp)

南校区民会議「みなみ子ども広場」

実行委員長 紫牟田一彦 館長

事務局長 末吉 達矢 主事

